

たかはぎ



あれ～、
うまくいかないわ

十一月三日（文化の日）、東小学校のグラウンドで、第十二回高戸まつりが行われました。
好天に恵まれたこの日、高戸地域の人たちが一堂に集まり、パン食い競争や綱引きなど、盛りだくさんの競技に、子どもからお年寄りまで、心地よい汗を流していました。
この催しは、毎年、文化の日に行われているもので、日ごろの仕事や農繁期の忙しさも忘れて、家族そろって楽しい一日となりました。

主なもくじ

- 3 ……新しい議会の構成決まる
- 4～5 ……第16回市民表彰・褒賞
輝く秋の叙勲
- 6～7 ……10年ぶりの中国を訪ねて（市長）
- 8 ……沖縄国体で優勝（市内からはじめて）
- 11 ……いよいよ高萩市にも下水道（その2）

市民憲章

- 一、自然をたいせつにし、美しいまちをつくりましょう
- 一、きまりを守り、明るいまちをつくりましょう
- 一、礼儀を正しくし、うるおいのあるまちをつくりましょう
- 一、元気で働き、豊かなまちをつくりましょう
- 一、思いやりのある、あたたかいまちをつくりましょう

編集・発行／高萩市役所市長公室 ☎ (0293) 23-2111

高萩の観光10選 投票所



第8回産業祭と 第16回みんなの消費生活展

晴れわたった青空の下、十一月二十一日(土)、二十二日(日)の二日間、市民体育館と中央公民館周辺で、第八回高萩市産業祭と第十六回みんなの消費生活展が開かれました。

▶中国蘭洲のギョーザ作り 本場の味を楽しみました



市内で生産または取り扱われている食料品、日用雑貨、工芸品などを一堂に集めての展示即売会や、素朴な農村料理の直売に人気が集まりました。

また、中国蘭洲からの研修生による「ギョーザ」作りも行われ、本場の味を楽しみました。

市民体育館では、高萩観光十選の投票や紙づくりなど、自分から参加するコーナーもあり、たくさんの方の家族連れでにぎわいました。

○産業祭農産物共進会の結果 最優秀賞(敬称略)

雑穀の部(大豆) 村山栄一
そ菜の部(ネギ) 村山茂子
特産の部(コンニャク) 櫻村郁子
林産の部(生しいたけ) 弓野勝男



▲農産物共進会の表彰

美しいハーモニイや 演奏会に拍手

第十四回市民音楽祭

十一月二十二日(日) 文化会館で、第十四回高萩市民音楽祭が開かれ、市内の保育所、幼稚園、小学・中学・高校、一般など二十団体、約九百人が出演、楽しい演奏や美しい歌声を披露しました。

会場には、出演者の家族など、たくさんの方々が訪れ、美しいハーモニイや演奏に盛んな拍手を送っていました。

ゲストに、ハンガリーから、ローラント・コヴァーチ氏(フルート)、ジュラ・キシユ氏(ピアノ)

自慢の歌を熱唱

第五回市民カラオケ大会

十一月二十三日(勤労感謝の日) 文化会館で、第五回市民カラオケ大会が行われました。

今年は、中学生も含む四十七人のカラオケ愛好者が出場し、日ごろ自慢の歌を精一杯披露しました。

審査により「雪国」を熱唱した柴田康博さんに、みごと市長賞が贈られました。

入賞者は次のとおりです。

(敬称略)

○市長賞 柴田 康博(下手綱)

▼熱唱する柴田康博さん



の二人が出演して、市民音楽祭を大いに盛り上げていました。

また、中国蘭洲からの洋裁研修生十一人も、中国の民謡を披露したり、高萩中学校の生徒との合唱など、楽しい集いになりました。

○議長賞 仲沢 実(安良川)

○教育長賞 佐藤いずみ(高浜町)

○文化会館館長賞

末永 一雄(安良川)

○特別賞 藤田 真弓(有明町)

○奨励賞 高橋利夫、鍋倉道雄、

広瀬文子、宮下富美夫、鈴木弘

54年ぶりに里帰り ブラジルへの移民花嫁

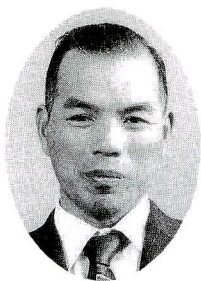


十一月五日(木) 昭和八年からブラジルのサンパウロ市に移住したとして出国した舟橋新子(旧姓阿部)さんが、五十四年ぶりに帰国し、その報告に鈴木市長を訪れました。(写真左から二人目)

舟橋さんは、当時二十三歳で東茨城郡桂村出身のご主人と二人でブラジルに移住したもので、現在、子ども五人、孫十八人、ひまご三人など、たくさんの方の親せきに囲まれて生活しているそうです。

市内に在住している弟の阿部明治さん(75)(春日町)、妹の鈴木栄子さん(68)(東本町)と一緒に市役所を訪れたもので、今回の里帰りは、ブラジル在住県人会の第一号として推薦されたもので、十月十五日(木)から十一月十二日(木)の約一か月滞在しました。

舟橋さんは、「なつかしい故郷



副議長
鈴木 徳男

新しい議会の構成決まる

昭和62年第1回臨時市議会

◎は常任委員長、○は常任副委員長です。(敬称略)

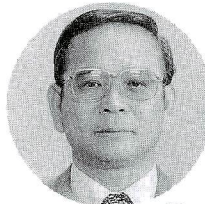


議長
根本 栄

文教厚生委員会



寺岡 七郎



○和田 和



◎舟生 佳紀

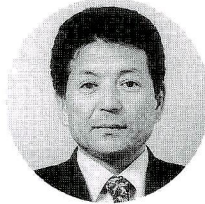


吉川多喜子

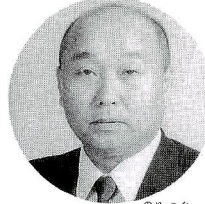


鈴木 本成

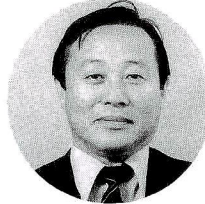
総務委員会



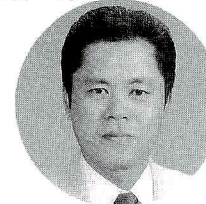
篠原新一郎



○金沢 典胤



◎鈴木 茂



村田 康生

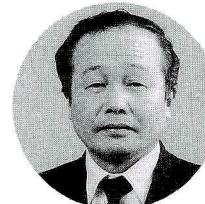


中井 盛雄

建設委員会



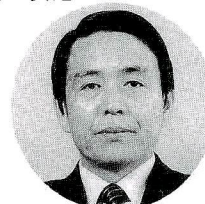
佐川 安應



○大部 勝央



◎郷土 行男



渡辺賢太郎

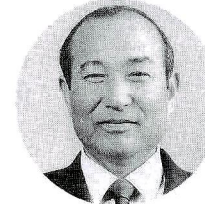


鈴木 一三

経済委員会



○明智 健一



◎飯田 邦昭



矢代 洋三

議長に
根本 栄氏
副議長に
鈴木 徳男氏
十一月八日(日)の市議会議員一般選挙によって、新しく誕生した市議会議員による臨時議会が、十一月三十日(月)に開かれました。
会議は中井盛雄議員が正式の議長が決まるまでの臨時議長を務め、議席を指定した後、全議員出席のもとに、正・副議長の選挙が行われました。
議長には、根本栄氏(無所属)、副議長には、鈴木徳男氏(無所属)がそれぞれ選出されました。
正・副議長を選出した後、常任委員会の選任にはいり、上記のとおり総務、文教厚生、経済、建設の四つの委員長、副委員長、委員が決まりました。
なお、経済委員会には、副議長の鈴木徳男議員が、あわせて選任されました。

十月三十日(金) 市役所で、十八年の歴史に幕を閉じた多賀畜産農業協同組合と高萩市農協の合併調印式が、関係者の出席で執り行われました。
これにより、合併にかかわる全ての手続きが終了、多賀畜産農業協同組合は、高萩市農協に正式に合併されました。



高萩市農協に合併 多賀畜産農業協同組合

のようすは、なにもかも変わってしまつて、私は浦島太郎のような気持ちですが、ちょうど両親の五十回忌の法事にも出席でき、兄弟にも会うことができました。たいへんうれしく喜んでいきます。たくさん日本での思い出を作つてブラジルへ持つて帰りたい。」とこう話していました。

市の発展に尽くされた12人を表彰

第16回市民表彰・褒賞

第十六回市民表彰・褒賞が、十一月二十日金、市役所で行われました。

この市民表彰・褒賞は、市の発展のために各分野で活躍されている人を表彰するもので、今年は、市民表彰六人、市民褒賞六人にそれぞれ賞状と記念品が贈られ、その功績をたたえました。

市民表彰

母子保健衛生の 向上に尽力



栗原志んさん
78歳
(大和町)

昭和十三年、市内に助産所を開業以来、現在までの永い間、数多くの新生児の分娩助助や妊産婦の環境に応じた保健指導、看護計画、生活指導など、母子保健衛生の向上に尽力されました。

技術の伝承に尽力



神永四郎さん
78歳
(本町)

大正末期から今日までの永きにわたり、大工職に精進し、今日の

公衆衛生に尽力



永山公平さん
76歳
(大和町)

開業医として永年、市民の医療活動に寄与するとともに、昭和二十五年から現在まで、学校医として、保健予防行政に貢献、また、郡医師会長、市医師会長などを歴任され、本市の公衆衛生に尽力されました。

教養の向上に尽力



大山静子さん
71歳
(春日町)

多年にわたり、文化協会並びに

公衆衛生に尽力



飯島友雄さん
71歳
(大和町)

開業医として永年、市民の医療活動に寄与するとともに、昭和三十一年から現在まで、市嘱託医として、保健予防行政に貢献、また、郡医師会長、市医師会長、市健康づくり推進協議会委員、市予防接種対策協議会委員を歴任されるなど、本市の公衆衛生に尽力されました。

補償の適正化に努力



大部伝七さん
70歳
(秋山)

昭和三十七年農業共済組合損害評価会委員に就任以来、十五年間の永きにわたり、制度の趣旨を理解し補償の適正化に努力されています。また、昭和三十六年から多賀畜産農業協同組合理事として、二十六年間組合の運営と和牛改良に努め、優良牛の生産に努力され

市民褒賞

地域商業の振興に貢献



寺島正男さん
72歳
(上手綱)

昭和二十七年から現在まで商業を営み、丸協青果市場仲買人組合長として、地域商業の振興に貢献、また、昭和三十一年から現在まで、地域納税組合長として納税思想の高揚に尽力されています。

交通安全の普及に努力



神永三郎さん
66歳
(安良川)

昭和三十年、高萩地区交通安全協会高萩支部理事に就任以来、自ら率先して街頭活動を行い、安全思想、交通道德の普及徹底に努め、とくに、児童、生徒の登下校時の立哨指導は他の模範であり、交通事故防止に尽力されています。

ました。

税務行政に貢献



鈴木幸内さん
62歳
(上君田)

昭和三十一年から現在まで、上君田宿上納税組合長として組合をよくとりまとめ、納税成績の向上を通して税務行政の円滑な運営に大きく貢献するとともに、納税貯

蓄組合の健全な発展に尽力されています。

消防職務に精励



鈴木彰さん
62歳
(下君田)

昭和二十七年に消防団に入団以来、三十五年の永きにわたり消防職務に精励され、昭和五十八年に

体育指導員活動を実践



中村五郎さん
61歳
(東本町)

昭和四十七年に市の体育指導員に委嘱されて以来、体育指導員活動の中で、サイクリングの実践活動を通じ、子どもたちへ自転車の正しい乗り方、交通法規等を理解させ交通事故防止に寄与されています。

青少年の健全育成に貢献

また、柔道スポーツ少年団の育成指導も積極的であり、本市のスポーツ行政に尽力されています。



柴田香さん
58歳
(高萩)

昭和四十二年から高萩市青少年相談員として、現在までの永きにわたり青少年の健全育成、非行防止活動に貢献され、現在地区班長として相談活動の中心的な役割を果たし、他の相談員のリーダーとして尽力されています。

輝く秋の叙勲

おめでとう

ございます



樋渡喜一さん
勲五等双光旭日章

医師の樋渡喜一さん(74)大和町二ノ五九は、永年にわたり学校保健の向上、発展に尽力された功績により、勲五等双光旭日章を受章されました。

樋渡喜一さんは、昭和二十二年に開業と同時に秋山小学校校医として就任以来、四十余年の永きにわたり、児童や保護者、教職員の保健思想の向上や健康管理に尽力されました。

また、多賀医師会の役員として独自の学校検尿検診体制をつくり、地域の児童生徒に対して腎疾患の早期発見・治療に多大の実績をあげています。

さらに、国民健康保険運営協議会委員として、高萩市健康づくり協議会をつくり、市民の健康づくりに積極的に取り組み、各種検診、予防医学を行政の中に取り入れるなど、社会的にも多大な貢献をされました。

優良な団体と 功労者を表彰

納税貯蓄組合



十一月十六日(月) 市民センターで、市税納税にご協力をお願いしている団体十五と、功労者十人に感謝状が贈られました。

受賞者は次のとおりです。
(敬称略)

- 納税貯蓄組合(団体)
- 安良川松原
 - 萩ヶ丘第四
 - 萩ヶ丘第五常会
 - 高浜北
 - 石畑
 - 川側共栄第二
 - 中戸川
 - 赤浜三
 - 島名上島
 - さざなみ
 - 東雲
 - 西城
 - 北城西
 - 立浪町
 - 下君田台

- 納税貯蓄組合功労者(個人)
- 豊田 宏(松合町一)
 - 沼野 義次(商栄)
 - 黒澤 正明(安良川十東)
 - 下山啓右(安良川宮本)
 - 坂本孝太郎(秋山上二)
 - 大部 満穂(有明町二の東)
 - 阿部 保美(向洋台)
 - 鈴木 徳樹(横川下)
 - 佐川 貫(久川)
 - 豊田四郎次(井戸沢)



▲桂林の景観

10年ぶりの 中国を訪ねて

～^{しん せん}深圳・^{こうしゅう}広州・^{けいりん}桂林・^{こんめい}昆明～



▲広東省対外友好協会を公式訪問
(前列中央楊副会長)

高萩市長 鈴木藤太

すすむ開放と改革

茨城県日中懇話会の第三次友好訪
中国の団長として、三十名の団員と
ともに、十月十九日から八日間、
中国西南部を視察してきました。

昭和五十二年夏、竹内知事を団長
とする「日中友好の翼」で、初めて
訪問以来、十年ぶりの中国でしたが
服装も多様化し、民衆の表情も明る
く隔世の感の変わりようでした。

前回、北京に滞在した七月二十二
日夜、ちょうど開かれていた第十一
回共産党大会で、文化大革命で失脚
中の指導者鄧小平氏の復権が決定さ
れたニュースを聞いた時は、宿舎へ
帰る途中の天安門広場が歓呼の群衆
に埋めつくされる壮観に接して、そ
の歴史的意義の大きさを痛感しまし
た。

今回は、滞在最終日の十月二十五
日から、第十三回共産党大会が開
かれたため、鄧小平指導体制による
開放路線の十年後の姿を当時と比較
することができました。

経済特別区の深圳

成田を出発後、鹿児島、台北上空
を経て四時間で香港に到着し、夕刻、
九龍半島の香港側の駅、羅湖から国
境を徒歩で越えて中国領深圳に入り
ました。照明も少なく、賑やかな香
港の風景に比べ、ゴースタウンの
ような殺伐さを感じましたが、バス

で市の中心部に入ると、以前は首都
の北京でも見られなかったネオンが
輝き、高層建築をはじめ建築中の建
物が多く目立ちました。

翌朝、ホテルの前に並んでいる車
が、トヨタ、ニッサン、ホンダ、い
すずと、全部日本車なのにびつくり
しましたが、市内へ出てみるとトラ
ック、タクシーも殆ど日本車です。

視察先の兵庫トヨタと合弁の自動
車修理工場では、日本人の社長のも
とで中国人の副社長と工場長が二部
交代の従業員を管理しており、幹部
が三十代、社員は平均年齢二十代と
の事で活気が感じられました。

自動車の輸入は、殆どが中古車で
新型志向の日本人が手離したモデル
チェンジ以前の車が活躍しています。

深圳は、経済特別区として試行的
に七年ほど前から対外的な経済開放
政策がとられており、華僑や外国資
本の導入も盛んで、日本の企業や商
品の漢字の看板が立ち並び、ハイビ
スカスやバナナの木がなければ周囲
の田園風景とともに、日本の新興都
市と錯覚するほどです。

市の中心部で、すすめられている
テクノポリスの先端技術産業の施
設も、主に日本の技術が取り入れら
れているとのことでした。

外国人や華僑のための分譲住宅は、
周囲の住民の建物と対比的に立派な
のが目立ちます。

各所ですすめられている建築工事

の特徴は、高層建築は別として、ブ
ルドーザーやクレーンなど建設機械
は少なく、レンガを竹の足場を使っ
てコテで積み上げる手作業で、器用
に近代的なビルが作られています。

人件費が安いことと、豊富な労働
力に雇用の機会を与えるための手段
として、日本の省力とは逆に人海戦
術がとられているようです。

広州で公式訪問

広州では、広東省対外友好協会を
公式訪問し、竹内知事のメッセージ
を伝えましたが、楊副会長をはじめ
幹部が出迎え、主客を中心に全員が
扇状に着席する中国流の行き届いた
歓迎に心温まるものがありました。

席上、十年後の香港返還のため中
国では隣接する深圳、広州などを経
済特別区として香港との経済交流を
はじめており、外国資本や技術を取
り入れ近代化に努めているので、実
情を良く見て率直な意見を聞かせて
欲しいと話するなど、自信とともに積
極的な姿勢が感じられました。

十年前の訪中では、人民公社や工
場の民主的生産管理による生産向上
の実績の宣伝や文化大革命の四人組
批判など、政治的発言が多かったの
に比べ柔軟な対応が目立って、革命
後の模索から開放と改革についての
実績が定着してきたゆとりを感じま
した。

以前、いたるところで見られた政

治スローガンの貼紙や看板も少な
く、広州駅の屋上に掲げられた「祖
国統一」と「振興中華」の看板が
印象に残ったくらいです。

市内珠江のほとりの公園には、肩
を抱き合うアベックの姿も見られ、
夜はディスコも賑わっているとのこ
とでした。

中国近代化の契機ともいえる孫文に
よる辛亥革命の起点となった広州が、
現在も中国の経済改革の先駆的役割
を果たしている姿を見る時、上海と
ともに中国大陸における地理的な位
置づけとともに、歴史上の因縁を感
ずるものがあります。

レセプションの席上、話し合った
中国国際旅行社の廖業務総監は、台
湾出身で中国経済は国内的にも、国
際的にも自由競争による活性化が必
要で、間もなく開かれる第十三回共
産党大会でも、開放と改革体制は、
一層強化されるであろうと話してい
ました。

観光客受け入れによる外貨獲得も
重要な国策の一つで、今まで外国
人旅行客は国营旅行社だけで取り扱
っていたものが、民営旅行社もでき
サービスを競い合っているというこ
とです。

経済特別区の開放と自由化がすす
む中で、所得も大幅に増え、以前は
農家所得の達成目標が万元戸（日本
円年間約四十万円）だったのが、
今では商工業の副業で十万元以上

の所得をあげる者も増え、自己資金による商店や工場経営への転業も多くなっているとのこと。

一方、日本の高度成長期のように、都市周辺では農業との所得格差から農業離れが目立ち、一部では農地の宅地化、工場用地化が急速にすすんでいます。

由緒ある景勝地桂林

翌日、空路桂林へむかいました。

桂林は、中国語の桂（木犀）の林の意味で、市内の並木から公園の植木まで木犀の多い風光明媚な都市です。市内を流れる漓江は、下流にかけて両岸に奇岩秀峰が山水画そのままの姿を見せており、世界の絶景の一つにあげられているほどです。

戦時中の印象を残す世代の一人として、当時の新聞やラジオで伝えられた桂林作戦の名を思い出し、この美しい自然の中で日中両国が戦わなければならなかった歴史に心の痛みを覚えながら、屈託なくジョークを交えて説明する若いガイドの言葉に



▲昆明の春城小学校で子どもたちと交流

聞き入りました。

風景も昔と変わらぬように、住む人々の暮らしも峻険な山岳に阻まれて変化がなく、かつての日本の山村を思わせる草ぶきの屋根、土壁の家が点在する中、水牛を牧童が追ひ、竹の筏で鵜飼いをする生活が今も営まれています。

最近、観光に訪れる日本人は、彼等にとつてはまたとない収入源で、ゆでた栗やみかん、手芸品などを幼児までが、日本語で売りに集まっています。

旧城内に聳える叠彩山の岩肌には中国の歴史に残る著名人の筆蹟が刻まれており、古くから多くの人がびとが訪れた由緒ある景勝地であることを知ることができます。

昆明の小学校を見学

最後の訪問地、昆明は、二千米近い高原都市ですが亜熱帯に属しているため、気候が温暖でブルーゲンビリアや菊など、四季の花が絶えないところから常春の都、春城と呼ばれています。

その名を取った春城小学校を訪れた時は、女性校長の周先生をはじめ職員、生徒が拍手で気持ち良く迎えて、歓迎の民族舞踊やバレエなどを披露してくれました。

体の動作だけでなく、表情にも変化があつて表現力が豊かだと、評価している母親の団員もいました。

小学校二年生から英語を教えています。外国語を覚えるには、この時期がいちばん大切だとのこと。教材を揃えた理科教室やワープロ専門の教室など、以前は北京の大きい小学校でもなかった施設も見られました。

教師は、副校長が二人のほか、教導、科学、情報、総務に担当が分かれ、教科は国語（語文）、外国語、数学、科学、音楽、体育（芸術体育を含む）、労働技術が取り入れられています。

小学教育のうちから、外国語の知識、とくに科学技術に対する関心と意欲の強さを感じました。

市内の名勝「龍門」にも登り、登龍門の快感を味わうことができました。龍門の古刹華亭寺には多くの参拝客が訪れて香煙が絶えず、敬虔に跪いて叩頭する中国流の礼拝をする人びとの姿が見られました。

前回は文化大革命で信仰が否定されていた直後で、立派な寺の仏像がみなほこりをかぶっていたのに比べ、たいへん変わりようです。

山門の前のテーブルで若い僧侶が観光客の視線も気にせず、大きなどんぶりや粥を食べているのも前回は見られなかった大陸的で、ユーモラスな風景でした。

新興の意気に燃える中国

八日間の短い旅で、前回の訪問の

見聞とあわせても、巨大な国家の一隅を垣間見たに過ぎない体験から、全体を論評することは到底不可能ですが、今回の訪中団は団員の年齢や職業構成も多岐にわたり、とくに半数近くが女性で細かく多角的な観察ができたこと、前回と同じく五年に一度の共産党大会に際会できて、文化大革命後の実態にふれることのできた有意義な視察となりました。

往復に立ち寄った香港の繁栄と貧困の両極の混在と、社会的理想を失った植民地文明の姿、深圳、広州の新興の活力、桂林の山水の幽玄、大鐘乳洞の神秘、昆明から百二十軒のバスの旅で訪れた少数民族の住む雲南高原—石林の叙情等、中国の社会、風物の姿に接するとともに、外国と科学に関心をもって、低学年から英語や科学技術を学ぶ小学生や日本人以上に日本の歴史文化を研究している若い通訳などから、かつての遣唐使や文明開化期の日本の青年たちを偲ばせる、自立更生への強い意志を感じることができたのも、今回の旅行の大きな収穫でした。

この十年間のうちにも、何度か指導者の交代が行われる中で、以前は革命最大の成果として誇示した人民公社も方法を改めて、生産向上のための実益にそつた手段を取り入れるなど、社会改革がかなりの速度ですめられていることが感じられます。生活水準はかなり向上しているも

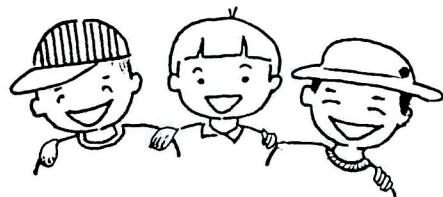
の、依然質素な生活に耐えながら生産に励み、国づくりに邁進している資源大国の隣国の姿は、経済大国の名のもとに資源の多くを外国に頼り、加工と消費経済に支えられている日本の現状と比べて、大いに考えさせられるとともに、資本と技術導入のパートナーとしての善隣友好だけで良いかとの疑問も生じます。

五千年の歴史と文化を持ちながら眠れる獅子といわれてきた中国は、今、目ざめて新興の意気に燃えています。

今後、更にすすめられる開放と友好政策により、我国もあらゆるかたちで影響が及んでくることでしょう。高萩にも、本年五月から十一名の蘭州市からの研修生が二年の予定で来訪しています。

私も、世界で最も古い関係と近い距離にある国として永続的に善隣友好関係を保って行くためにも、まず自らの主体性を堅持すること、に、正しい認識と自覚をもつた交流が必要であると思います。広州の一夜の語らいで感銘を受けた、広東大学で日本語を教えているという、廖先生の「戦時中、日本で暮らして日本人もこの戦争でどれだけの苦しさと悲しみを味わったかを良く知っている。両国民の不幸な共通の体験をこれからの中日友好の教訓にしなければならぬ」との言葉が強い印象として残った訪中の旅でした。

しみのひろば



市民のひろばのコーナーは、みなさんの身近に起こった話題や行事、声を紹介しします。何かありましたら係までお寄せください。
☆あて先……市民活動課広報広聴係
(☎23-2111、内線262)



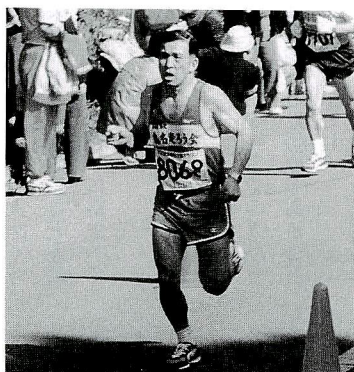
沖縄国体で優勝

市内からはじめて

五ノ上祐介くん(写真中央)

十月二十八日(水) 沖縄で開かれた第四十二回国民体育大会(海邦国体)で、大和町の五ノ上祐介くん(磯原高校)が、重量挙げ少年男子九十kg級で期待通り、スナッチ百二十五kg、ジャーク百五十二・五kgの自己新記録をマーク、みごと優勝を果たしました。

なお、市内から国体に出場し、優勝の栄に輝いたのは、五ノ上くんがはじめて、高校三年生の五ノ上くんは進学を希望、重量挙げを続けていくそうです。これからも、ますます頑張っって欲しいものです。



マラソンで健康増進

佐川

功さん
(高萩)

「私は、四十八歳の時にジョギングをはじめましたが、はじめは一kmも走ることができませんでした。運動不足のせいか四十五、六歳のころから体重が増えはじめ、七十四kg、腹囲り九十四cmまでになってしまいました。

二年間は、じつくりジョギングを重ね、足腰の痛みを通りこして



点字のカレンダーと年賀状を作成

高萩点訳友の会(会長鎌田充)では、毎年、目の不自由な方たちに点字のカレンダーと年賀状を贈って、大変喜ばれています。今年も、11月5日(木)、市民センターで、この日売り出された年賀はがきや来年のカレンダーなどを持ち寄り、作成作業をはじめました。なお、この模様は、NHKテレビでも放映されました。

から練習が楽になりました。」と笑いながら語る佐川さん。

「昭和五十六年に市民マラソン五十歳以上の部に初参加、二位になつて以来、青梅、勝田、筑波学園マラソンなど、この六年間に約五十回近く大会に出場、体の健康管理に努め、その結果、体重十三kg減、腹囲り十二cm減となり体のためにとつてもよかったと思っています。

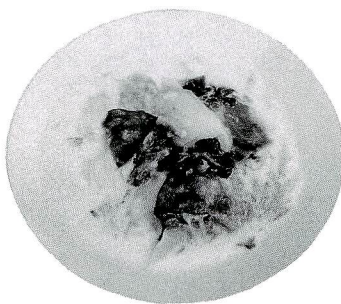
マラソンのゴールイン、完走の喜びは、走った人でないとわからないと思いますよ。自分との闘い、体にむちを打ちながら走っています。

いままでに、フルマラソンは五回走っていますが、六十歳までに十回は走りたいと思っています。

元気なうちに、ハワイのホノルルマラソンに行ってみたいですね。」と佐川さんの夢は、大きく膨らんでいます。

私のアイデア料理

白菜とハムの牛乳煮



食生活改善推進員

泉 キヨ子さん(高戸)

<材料> 4人分

- ・白菜……………500g
- ・ハム……………4枚
- ・油……………大さじ1
- ・塩……………小さじ1
- ・さとう……………小さじ1
- ・牛乳……………300cc
- ・酒……………大さじ1
- ・片くり粉……………大さじ1
- ・水……………大さじ1

<作り方>

- ① 白菜は、しんをそぎ切り、葉はざく切りにし、ハム(6つ切り)といっしょに油でいため。
- ② 調味料(塩、さとう、酒)と牛乳を加え白菜が、やわらかくなったら水どき、片くり粉を入れてとろみをつける。

「冬は、白菜のおいしい季節です。この料理は少ない材料で、とても簡単に作れるので手間がかかりません。消化がよいのでお年寄りのかたにもむくと思いますよ。とろみは片くり粉で調節してください。寒い夜に、あつあつの白菜を食べると体のしんまであたたまります。」

私とボランティア⑧



吉田千代乃さん
(上手綱)

会員みんなで 一致協力して

「高萩日舞愛好会は、今から十二年まえに、市の文化祭をはじめて実施するときに、市内の踊りの愛好者たちが集まって、せっかく文化祭をやるのだから、市の文化向上のためにお役に立ちましようできたものです。」

活動も、あくまで文化祭の発表などが主でしたが、その後、自分たちの発表会を実施したりして、当初、三十五、六人の会員が、現在八十七人となっています。高萩日舞愛好会ができて、三年目ぐらいに高萩市社会福祉協議会の善意銀行にボランティア登録しました。

最初、入会してくるかは、趣味や旅行のときなどに踊りを披露

したい、文化祭で発表したい、などの動機が多いようですが、ボランティア活動への関心はみなさん持っています。いつでも協力しますよといってくれます。」と会長の吉田さんはこう話していました。

「最近、中国蘭州から高萩市に洋裁の勉強に来ていた十一人の研修生に、踊りを教えたり、日中両国の友好のお役に立てばと思つて、親睦を深めています。」

また、今年の高萩まつりに山形県新庄市の睦会のみなさんが、流し踊りに参加してくれましたが、そのお礼に、高萩日舞愛好会でも二回、新庄市を訪れ新庄まつりにも参加するなど、踊りを通して交流を深めています。

会員が八十七人と多くなつてきていますが、これからもみんなで一致協力して、文化祭や発表会など力を入れて、やっていきたいと思つています。」と吉田さんはこう抱負を話してくれました。

※高萩日舞愛好会では、参加者を募集しています。あなたも一緒にボランティア活動してみませんか。

連絡先 高萩市社会福祉協議会
☎二二二二二二一内線三五四

笑顔と踊りでコミュニケーション

寄稿

青年のつばさ③

イタリア(ミラノ・ボローニャ・ラベンナ・カトリカ・フィレンツェ・ローマ)

柴田敦子さん(有明町)

イタリアでは、まずミラノのドゥオーム(教会)に驚かされた。屋根が、まるで無数の尖塔からできているすばらしい建物で、何と完成するのに五百年もかかったそうす。

一つの教会を完成させようとした人々の情熱に、私は胸が熱くなる思いでした。

カトリカという海辺の町では、私たちはレ・ナビという青少年のための宿泊施設に泊まりました。そして、そこで現地の青年たちとすばらしい交流をもつことができたのです。夜、そこにある屋外の

ディスコ会場で、私たち「青年のつばさ」女性軍十名は、持つていったゆかたを着て、事前に練習をしておいた「さくら さくら」の日本舞踊を披露したのです。珍しい手伝って、大変喜んでもらえました。

また、男性もはつぴを着て、全員で万博音頭を踊ったのです。一回り、二回りするうちに、イタリアの青年たちも飛び入りで入つてきて、そのうち見ていた人たちもみんな入って踊ってくれました。言葉なんかわからなくとも、お互いの笑顔と踊りで、十分コミュニケーションができたと思います。本当に、思い出に残るひとときでした。

フィレンツェでは、フィッツィ美術館で、ラファエロ、ミケランジェロ、ダ・ビンチ、ボッティチエリなどの傑作をたくさん見ることができました。

ここで強く感じたことは、たった一枚の絵を見るにしても、作者

のこと、その時代、絵の内容など、実に多くの要素をつかんでいないと、鑑賞の楽しさが半減してしまうということでした。

知識があれば、その分深いところまで味わうことができる、これは絵画だけではなく、実は研修の間ずっと感じていたことです。

ヨーロッパを見るといことは、ある意味では、歴史を見るということ、まだまだ、いろいろな事を勉強しなければならないと痛感しました。

ローマでは、有名なコロセウム、テレビの泉、真実の口などを見てまわり、最後にバチカン帝国のサンピエトロ寺院を訪れました。信じられないほどの大きさで、内部もまた、言葉も出ないほど、豪華で厳粛でした。

とくに、感動したのは聖ペテロの青銅像は、世界中から訪れる信者がその像の足をさすっていくために、つま先のところがすり減つてまらなくなっていました。

一体どれだけの人が、触れていたのでしょうか、感動を押さえることができませんでした。

この十二日間は、私にとって生涯忘れることのできない、すばらしい研修になりました。最後になりましたが、お世話になったみなさんに心からお礼申し上げます。

「ありがとうございました。」(完)



▲ローマのホームステイ先で
(柴田さん：左から2人目)



文化祭と菊花展

十一月三日(火)から五日(木)まで、中央公民館と文化会館を会場に、高萩市文化祭が開かれ、たくさんの方々にぎわいました。

また、春日町児童公園では、十一月二日(月)から十三日(金)まで、たくさんの方々にぎわいました。また、春日町児童公園では、十一月二日(月)から十三日(金)まで、たくさんの方々にぎわいました。

第十二回

クロッケー大会

十一月十二日(水) 市営野球場で、



第十二回クロッケー大会が行われ、約三百人が参加して、技を競いました。

成績

優勝 南松寿会

準優勝 北組クラブ

三位 中戸川クラブ

四位 上島名クラブ

五位 台駒木原高砂会

六位 和野やよいの会

第一回市民クロッケー・ゲートボール大会

十月三十日(金) 市営野球場で、第一回市民クロッケー・ゲートボール大会が、約二百人の参加で行われ熱戦を繰り広げました。



第1回市民クロッケー・ゲートボール大会成績

クロッケー	ゲートボール
優勝 大和町寿クラブ	優勝 島名球友会B
準優勝 はまなすB	準優勝 はまなすA
3位 朝香クラブ	3位 秋山益壮会
4位 台駒木原高砂会A	4位 島名球友会A
5位 はまなすA	5位 高萩長寿会
6位 台駒木原高砂会B	6位 山手クラブ

'87グリーンふるさとフェスティバル



十一月十五日(日) 大子町の大子中学校で、'87グリーンふるさとフェスティバルが開かれ、約五万人の人でにぎわいました。

このフェスティバルは、県北西部地域の十八の市町村で組織している(財)グリーンふるさと振興機構の主催で、毎年開かれているもので、今年三回目を迎えました。

高萩市からも、郷土の特産品として、竹細工や大心苑ハム、イワナ、野菜、減塩味噌、三五八漬などが出品され、大好評でした。

第十二回市民

バトミントン大会

第七回市民総合体育大会兼第十二回市民バトミントン大会が、十一月十五日(日)、市民体育館で、四十二組(八十四人)が参加して開かれました。(敬称略)

成績 優勝者

男子高校 熊谷、鉄組

一部 阿部、渡辺組

女子高校 鈴木、根本組

一部 三浦、吉川組

二部 磯野、野木組



「常陸国花園山物語」

発刊記念祝賀会

花園教之さん(本町)

十一月十四日(土) 農協会館で、「常陸国花園山物語」発刊記念祝賀会が、約百五十人の参加で盛大に開かれました。

この「常陸国花園山物語」は、昭和五十一年、第二十七回全国植樹祭のお手まき行事のため高萩市を訪れた天皇陛下が、「花園山とはどんな山ですか」とたずねられたことにはじまるといわれています。

花園さんは、それ以後構想に四年、執筆に六年という年月をかけて、三百六十ページにもわたる力作を完成、このたびの発刊記念祝賀会の運びとなったものです。



《お元気ですか保健婦です》

血圧測定コーナーを

ご利用ください

自分の体の調子を知るものの一
つとして、市では、このたび本庁
舎玄関ロビーに一人で測れる「自
動血圧計」を置きました。来庁の
折には、ぜひご利用ください。

血圧を測る時の注意

○五分以上、座って静かにしてい
ること。運動後、食事後は避け
ること。

ましょう。

○タバコは吸わないこと。

○深呼吸を二、三回すること。

『血圧はいつも同じではない』

血圧は、健康な人でも一日のう
ち、その時の精神状態や身体の調
子によって、二十〜三十mmHgくらい
の変動があります。たとえば、心
配事やストレスがある、怒り、恐
怖、悲しさ、重労働、激しい運動
などで血圧は高くなります。

血圧値の判定基準表

単位： mmHg		最 高 血 圧		
		140未満	140以上 160未満	160以上
最 低 血 圧	90未満	正常 血圧		
	90以上 95未満	境 界 域		
	95以上		高 血 圧	

WHO(世界保健機関)の分類による

高萩の昔話と 民 俗

三輪山神婚説話

(11)

志 田 諄 一

うにみえる。

余が隣里川山村の境に、久慈河
の流に沿って断崖壁立(だんが
いへきりつ)し、人の攀得(よ
じう)べからざる地あり。此の
半腹に石窟あり。猿狖(えんど
う)数百集会せり、うちに白猿
あり。毛色潔白にして潤光あり。

事なり。同郡(久慈郡)高倉村よ
り金砂山など猿狖最も多し。相
伝小、山王日吉神あるかへとぞ。
とあり、日吉山王社の神使とされ
る猿に対する考え方が示されてい
る。

二十一匹の大猿が金砂山の日吉
山王社の前庭にあらわれて月明の
夜に舞いを楽しんだというのは、
日吉山王権現(日吉神社)が「山
王二十一社」とも号し、二十一座
の権現が合祀(ごうし)されてい
たことにもとづくのである。

文政九年(一八二六)に久慈郡
大子村(大子町)の黒崎貞孝が著
した『常陸紀行』にも、つぎのよ

夜日衆、清浄之霊場之側、我不可聚、
乃移慈睿、房念於阿弥陀使諸人同
唱至子時、結印、誦咒、北首、右脇而逝
年七十一同八年賜諡慈覺大師
山王二十一社来由之度
比叡山延暦寺戒壇院者人王五代桓武
天皇御願所傳教大師之草創地大師
者迎別、滋賀郡之人其先東漢猷帝



“緑を愛する少年隊” 清掃活動

君田中学校

十一月十七日(火) 君田中学校で
は、土岳山や小滝沢キャンプ場周
辺の清掃活動を行いました。
これは、毎年、“緑を愛する少
年隊”活動の一環として実施して

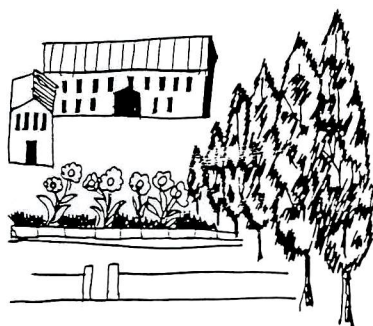
一回測って高かったからといっ
て、自分の血圧が高いのだと判断
せず、日を変えて何回か測ってみ
ることです。そして、高い場合は、
医師に相談してみることをおすす
めします。

自分の血圧は、だいたいこのく
らいであるということを知ってお
くことが大切です。

君田小学校と

高萩中学校が入選

学校環境緑化コンクール



十月二十九日(木) 水戸市の茨城
県青少年会館で、茨城県昭和六十
二年度学校林活動及び学校緑化コ
ンクールの表彰式が行われ、市内
からは君田小学校と高萩中学校が
入選しました。

このコンクールは、児童、生徒
の緑化活動をより一層推進して、
緑に対する意欲の高揚、学校緑化
気運の継承と浸透、定着化を図る
ために毎年実施されているもので
す。

いよいよ高萩市にも下水道

その2

受益者負担金特集

高萩市の下水道は、日立市・十王町との二市一町で事業を進めています。

昭和六十四年度一部供用開始にむけて、汚水処理する浄化センターから高浜町までの幹線管渠が完成しました。現在は、浄化センター建設と高浜町の面整備を昭和六十三年度完成をめざし、また、有明町、東本町、安良川、大和町、その他でも面整備の工事が進められています。

受益者負担金制度

下水道によって著しい利益を受けるみなさんに、負担していただく受益者負担金は、固定資産税のように毎年賦課されるのではなく、その土地に対し一度限りの賦課です。したがって、負担金総額を全額納めしてしまえば、あとは賦課されません。

算出方法

単位負担金（1㎡当たり）三百四十円を、あなたの権利のある土地の面積に乗じて得た額が、受益者負担金総額になります。

たとえば、三百三十㎡（約百坪）の場合は、三百四十円×三百三十㎡＝十一万二千二百円です。

納入方法

負担金総額は、年四回（五月、八月、十一月、二月）、四年間の計十六回で納めていただきます。総額が十一万二千二百円の場合は、一回の支払い金額が十一万二千二百円÷十六回＝七千十円（余り四十円）で、初年度の第一期分はこの四十円を加えた七千五百円、第二期以降は七千十円を納めることになります。

また、負担金全額、または数期分を前納することができます。この場合は、前納月数に応じて報奨金を受けられます。（ただし、一万円を限度とします。）

負担金の減免徴収猶予

受益者負担金は、区域内すべての土地に賦課されますが、その土地の状況や用途によって減免や徴収猶予されます。対象となる土地は、公共性のある私道（百％減免）、や農地等（全額徴収猶予）などで

受益者の変更

土地の所有者が変わったり、権利者に異動があった場合は、それ以後に納める負担金は新しい所有者、または、権利者になったかたに納めていただくことになりますので、当事者のかたはただちに変更の届け出をしてください。受益者負担金についての説明会を次の日程で行います。

○十二月十三日(日)
高浜住宅集会所 午前十時
有明集会所 午後一時三十分
○一月二十三日(土)
高浜住宅集会所 午前十時、午後一時三十分、午後五時
○一月二十四日(日)
有明集会所 午前十時、午後一時三十分、午後五時

ねたきりのお年寄りに

お風呂のサービス

家庭において入浴困難なねたきりのお年寄り等のため、入浴サービスを身体障害者療護施設「愛正園」に委託して実施しています。愛正園のバスで自宅から愛正園まで送迎し、施設の特設浴そうで

入浴させるもので送迎には家族の付き添いが必要です。

詳しくは、高萩市社会福祉協議会（☎三三二二二一内線三五五四）へお問い合わせください。

国民年金

最近、「私は二十五年間国民年金を納めたので、やめたいのです。が……。」という相談があります。左の表を見てください。国民年金は、四十年間納めて満額の年金を受けることができます。

国民年金は、世代と世代との助け合いの制度で、公的年金加入者以外の方はすべて、加入して納付するという国民の義務になっています。

二十五年間でストップすると障害者になっても、障害年金が受けられないなどの不利益も生じます。年金相談は、国民年金係で行っています。気軽にお出かけください。☎三三二二二一内線二三三

こんなにちがう年金額

10	20	30	40	50	60 (万円)
40年納付 626,500円					
35年納付 548,200円					
5年未納					
30年納付 469,900円					
10年未納					
25年納付 391,600円					
15年未納					

文化会館

もよおしもの

第四回名画鑑賞会



十二月二十日(日)

○映画女優
午前十時、午後三時
○マルサの女
午後一時

*

第五回名画鑑賞会



している世帯は”

○保険証の返還

○資格証明書を交付

保険証を返してもらった場合、そ

昭和62年12月10日(木)から昭和63年1月10日(日)まで

○資格証明書での受診

○保険証の交付

○保険給付の差し止め

ごみ収集について

ごみの収集

十二月は、収集カレンダーの通り三十日(水)まで収集します。年末は多量にごみが出ますので、一度に出さないよう計画を立ててごみを出してください。一月は四日(月)からになりますので、ご協力ください。

自己搬入のごみの受け付け

十二月二十七日は日曜日ですが、

療養費、高額療養費、特定療養費および助産費などの保険給付の全部または、一部が差し止められます。

○お年寄りなどの場合

老人保健で、診療を受けるお年寄り、また厚生省令で定めた医療で診療を受ける人は除外されます。この措置は、保険税を納めた人と納めない人との負担の公平を図る観点から講ぜられたものです。保険税は期日までに必ず納めましょう。

浄化槽の設置届出の

受付窓口が変更

従来、浄化槽を設置する場合は
浄化槽明細書や浄化槽設置届出書

平常通り受け付けますので、午前八時三十分から午後四時までに自己搬入してください。二十八日(月)から三十日(水)も平常通り、午前八時三十分から午後四時まで受け付けます。一月は四日(月)から受け付けをします。

持ち込む時の注意

混み合いますので、手間取らないよう、可燃・不燃・資源・粗大ごみの四種類に分けて降せるように積んで来てください。（分け方は収集カレンダーを参照）

※タイヤ、廃油、廃プラスチック

を高萩保健所で受け付けていました。が、茨城県浄化槽指導要綱等の改正に伴い昭和六十二年十月一日から、建築物の建築とあわせて設置しようとする場合は、建築確認申請書と浄化槽明細書を市役所建設課へ提出することになりました。

また、既存の汲み取り便所を改造して、浄化槽を設置する場合や浄化槽の構造、規模の変更をしようとする場合には、浄化槽設置届出書等を市役所衛生課に提出することになりましたので、お知らせします。

これらの届出書類は、市を經由

して高萩保健所へ送付されます。

※詳しくは、市役所建設課、衛生課へおたずねください。☎二二二—二二二 内線四〇三、三六二

等産業廃棄物は受け付けません。

年末のし尿の

くみ取りは早めに

毎年、十二月中旬ころに申し込
みをされても、混雑のため年内に
収集ができない場合がありますの
で、早めに次の収集業者に直接お
申し込みください。

高萩清掃社 〇二二―二六五三
飯島清掃社 〇二二―二六三三
十王清掃社 〇三三―五五〇五
※し尿収集は、十二月三十日(水)まで、一月四日(月)開始

一月十七日(日)

○八子公物語

午前十時、正午、午後二時

*

※入場料はいずれも

大人一〇〇円

高校生 八〇〇円

中学生以下 七〇〇円

当日は、各二〇〇円増
です。

[illegible]

田所書店、仲屋書店、深谷書店
コミュニティストア上島名ねもと、
高浜やおけん、野木商店、
文化会館（☎二三一七四一一）

訪問販売にご注意

訪問販売取り引きは、近年ますます盛んになっていきますが、一部には詐欺まがいの悪徳業者もあり、いくつかのトラブルが発生しています。

最近市内でも、法外な値段でガス漏れ警報器を訪問販売している例が多発しています。もし、不審な訪問販売などがありましたら、高萩ガス事業共同組合（☎二三―五五九五）へご相談ください。

また、このようなトラブルに巻きこまれないよう契約には十分注意してください。



滝坂の丘

初冬の空気の静けさに、久しぶりに滝坂の丘に立って
みた。

ここは春ともなれば、空にかけた虹かと、まごうばかりの万葉の桜をはじめ、梅、紫陽花、萩と四季折々に目を楽しませてくれる。しかも、ここからの市街の展望はすばらしく、夏の夜景など実に美しい。

高萩美術協会員 益子 太郎

日曜当番医

1月3日	内田病院	大和町	22-2137
1月10日	飯島医院	大和町	22-2235
	十王医院	十王町	32-3266
1月17日	樋渡医院	大和町	22-2202
1月24日	石病院	東本町	23-1711
1月31日	滝川医院	春日町	23-3100

時間は、いずれも午前9時から午後4時までです。

善意の窓



善意ありがとうございます

- 高橋 董さん 社会福祉へ 島名
- 一万円
- むつみ手芸クラブ 社会福祉へ
- 五千元
- 高萩ライオンズクラブ 社会福祉へ
- 五万円
- 吉田 洲峰さん(八洲吟詠会) 社会福祉へ
- 十万円

名刺交換会

昭和六十三年の新年名刺交換会
を開催しますので、お申し込みく
ださい。
とき 昭和六十三年一月四日(月)
午前十一時



◆寄贈・図書館へ
新本寄贈
○安島 節雄さん 大和町

ところ 文化会館
会費 千五百円(当日払い)
申込書 市役所市長公室秘書課
申し込みは、住所、氏名、職業
をはがきに書いて、十二月十五日
(火)までにお申し込みください。

成人式は
平素の服装で

来年、一月十五日の午前十時か
ら、文化会館で「第三十四回成人
式」を行います。
今回も、県下一体となって簡素
化運動を実施することになりまし
たので、華美な服装はできるだけ

親子スキー教室
参加者募集



とき 昭和六十三年一月五日(火)
〜六日(水)(一泊二日)
ところ 山形県栗子スキー場
対象者 小学生以上の子と親
募集人員 二十組(四十人)
参加料 二万円(親子で)
申込期日 昭和六十二年十二月十
四日(月)〜二十三日(水)
(ただし、定員になりしだい
締め切らせていただきます)
※参加料を添えて市民体育館(☎

市民大学講座

とき 十二月十二日(土)、午後一
時三十分〜三時三十分
ところ 中央公民館
演題 知って得する税のほなし
講師 日立税務署
○関根勝雄署長
○田中輝彦(所得資産第一
部門統括) 国税調査官
対象者 一般成人
申込方法 当日、二時から受け付け
ます。詳しくは中央公民
館へ ☎二三一一二五

年末年始の
市役所の業務

十二月二十九日(火)から一月三日
(日)まで、市役所は年末年始の休
みに入ります。ただし、この期間、
午前八時三十分から午後五時まで
死亡届け等に限り受け付けます。

避けて「平素の服装」での式典出
席をお願いします。
成人式を迎えられる人は、昭和
四十二年四月二日から昭和四十三年
四月一日までに生まれたかたで
す。成人されるかたには、直接は
がきで通知することになっていま
すが、市出身者で帰省しているか
た、または、通知もれのあった成
人該当者にも出席されるようお誘
い願います。

12月の納税

固定資産税 (第3期)
都市計画税

国民年金 (12月分)

納期限 12月25日

人口と世帯

	前月比
人口	34,846(+66)
男	17,165(+27)
女	17,681(+39)
世帯	10,499(+21)

(昭和62年11月1日現在)